

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還交渉 (VOA)(I)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43645

愛知外務大臣・マイヤー大使会談

(昭和廿年11月16日)

○

○

○

○

秘密表示(未印)
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封
封

館長直報
公文

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	2	2	4
付			
願			

発送日 昭和45年11月20日
処理日
発信 米タイプ用紙 投

文書課長 公文案 (分類)

公信番号 米北の合 第 4239 号	公信日付 昭和 45年 11月 19日
大臣 主管	起案 昭和45年 11月 16日
政務次官 事務次官 法国外務審議官 定川外務審議官 官房長	アメリカ局長 参事官 北米才一課長 起案者 電話番号 米北一長 447 (小野) 246
協議先	条約局長 等々 米保長
受信者 在 米 片場 大使 沖繩高瀬 大使	発信者 外務大臣
写送付先	(希望発送日) 月 日
件名 VOA (本大臣・米大使会談)	

言授
了

写

極 秘
無 期 限
4部の内
3号

外 務 省

米北/合第4239号

昭和45年11月9日

外 務 大 臣

VOA(本大臣・米大使会談)

11月6日午後、本大臣と在京マイヤー大使との第5回定例会談に於ける標記関係要旨次の通り。

1. 本大臣より先般総理・米大統領会談の際、本件につきキャッシュャー特別補佐官より言及があり、これに対する総理の御発言は御承知の通りであるが、国内的にみて最も困難な問題でありなんとか総理の言われた如く暫定的な態で決着をつけたく努力中である旨述べた。

外 務 省

2. これに対し大使より、本件は議会による返還協定承認上重要なものであり、日本側におかれてVOAの継続がESSENTIAL FACTORであることにつき誤解がないように願いたい。米側としては事務当局レベルで解決することを期待し大統領には十分説明してなかつた次第である。いずれにせよ本問題はどうしても解決されなくてはならないと述べた。

本信送付先 米、沖縄復帰準備委員会日本国政府代表